



平成27年3月25日

各位

上場会社名 株式会社今仙電機製作所  
 代表者 代表取締役社長 藤掛 治  
 (コード番号 7266)  
 問合せ先責任者 取締役 大野 真澄  
 (TEL 0568-67-1211)

## 業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成26年11月11日に公表しました平成27年3月期（平成26年4月1日～平成27年3月31日）の業績予想を下記の通り修正するとともに、特別損失の発生につきましてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正について

平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 112,700	百万円 5,000	百万円 5,200	百万円 3,800	円 銭 185 46
今回修正予想 (B)	113,000	3,000	3,700	900	43 91
増減額 (B-A)	300	△2,000	△1,500	△2,900	
増減率 (%)	0.3%	△40.0%	△28.8%	△76.3%	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	110,265	4,658	6,104	4,680	264 87

#### 2. 特別損失の発生とその内容

##### (1) 連結

北米の連結子会社イマセン ビュサイラス テクノロジー インクが有する事業用資産について、現在の事業環境を踏まえ今後の見通しなどを勘案し、将来の回収可能性を検討した結果、減損損失約13億円を特別損失に計上する見込みです。

##### (2) 個別

上記2(1)に伴い、関係会社株式評価損約10億円、貸倒引当金繰入額約16億円を特別損失に計上する見込みです。なお、関係会社株式評価損及び貸倒引当金繰入額については、連結業績への影響はありません。

#### 3. 業績予想の修正理由

売上高につきまして、国内において受注が減少したものの、為替の影響によりほぼ横ばいの見込みとなりました。利益につきましては、国内の売上高が減少したことによる収益悪化に加え、国内及び北米において様々な合理化や原価低減に取り組んだものの想定した収益改善には至らず、また、米国、フィリピンの港湾問題などにより物流費が増加したことにより前回予想を下回る見込みとなりました。当期純利益におきましては、上記2に記載しましたとおり、特別損失の計上により、前回予想を下回る見込みとなりました。

(注)上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

以上